

ポスター発表 追加募集

協働実践研究会・ビジネス日本語研究会・看護と介護の日本語教育研究会が合同でインドネシアにてセミナーを開催することとなりました。2日目のポスター発表の発表者の追加募集を行います。奮ってご応募ください。

募集内容：下記のセミナーの開催趣旨に合う研究発表・実践報告のポスター発表

使用言語：日本語

応募資格：協働実践研究会の会員であること（入会がお済みでない方は、協働実践研究会サイトの「[入会案内](#)」をご覧ください）

※ ビジネス日本語研究会あるいは看護と介護の日本語教育研究会の会員の方は、ご所属の研究会を通してエントリーしてください。

※ 複数の研究会の会員の方は、一つ研究会を選び、エントリーしてください。

同じ内容で複数の研究会を通して応募することはご遠慮ください。

提出書類：エントリーシートをダウンロードし、ご記入のうえ、ご提出ください。

必要事項：発表のタイトル、要旨（500-1600字以内）お名前、ご所属、ご連絡先

締切：2018年6月9日（月）午後11時（日本時間）（結果は、締切後、早急にお知らせします）

応募・問い合わせ kyodo.jissen.kenkyukai (a) gmail.com

応募のメールの件名は「バンドン発表応募」としてください。

※発表していただく場合、7月中旬までに予稿集（英語の要旨付）の提出をお願いします。

○日時：2018年9月8日（土）・9日（日）2日間

○場所：インドネシア バンドン インドネシア教育大学

○開催の主体：協働実践研究会 看護と介護の日本語教育研究会 ビジネス日本語研究会

○開催の形態：主催（共同）協働実践研究会 看護と介護の日本語教育研究会 ビジネス日本語研究会
共催 インドネシア教育大学

後援 公益社団法人日本語教育学会、一般社団法人 日本自立支援介護・パワリハ学会

○開催趣旨：

急速に進展するグローバル化の中で、国内外で日本語を使って仕事をする外国人が急増し、その活動分野や領域も拡大しています。日本では、外国人福祉人材の受入れにおいて、従来の経済連携協定（EPA）によるものに加え、2017年から外国人技能実習制度の対象職種への「介護」の追加、在留資格「介護」の新設など、大きな変化があります。これらの背景には、介護人材の人手不足や待遇との関わり、内閣官房が2016年に打ち出した「アジア健康構想」によるアジア各国との連携等、多面的な問題が含まれています。これに対し、政府や企業・各種組織もさまざまな施策や対応を行っていますが、いまだ十分とは言えず、今後も日本語教育者を含むより多様な視点からの議論による取り組みが必要となっています。一方、インドネシアは中等での日本語教育が盛んであるにもかかわらず、成人教育やキャリアパスへのアーティキュレーション（つながり）が構築されていません。そのため、日系企業ではインドネシア人の定着と雇用が期待されつつも、異文化間の相互理解における課題や制度上の課題があり、未だ定着がままなりません。

そこで、このような課題を踏まえ、今回の連携研究会では、ビジネス日本語教育、医療・福祉分野・ものづくり分野・IT 関連分野等での人材活用と、日本語教育および仕事環境における協働について、インドネシアと日本の現場間の情報交換や議論、そしてケースをもとにしたワークショップを行います。

また、協働実践研究会が主催するパネルセッション③では、これまで「ビジネス日本語コミュニケーション教育」が協働の理念に基づく「ケース学習」を開発してきたのと同様の経緯を経て、「ビジネス日本語研究会」と「看護介護の日本語教育研究会」を協働の理念によってつなぎ、共通部分であり融合部分の実践のかたちを創造するための提案を行います。

両国の日本語教育関係者・研究者・企業関係者らが連携することによって、外国人材の受入れに関し、地球規模での距離や専門分野での隔たりを超えた共同研究・協働実践を行うきっかけとしたいと思います。

また、企業の方々には、特別プログラムを複数用意しています。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

○参加費

- ・日本からの参加 主催研究会の会員 5,000 円 非会員 6,000 円
日本以外の国（居住国）からの参加 一律 2,500 円
学生 一律 2,500 円
- ・支払方法：事前支払い
- ・参加費に含まれるもの：名札、昼食 2 日分、ティータイム 2 日分、参加証明書、予稿集

○参加の申込の受付期間

5 月下旬から 8 月上旬（詳細は、協働実践研究会の HP、フェイスブックおよびメーリングリストでお知らせします）

○開催スケジュール（変更の可能性有）

9 月 8 日（土）

8:30- 9:00	挨拶 ①会場校 ②主催者		
9:00- 9:30	基調講演①インドネシア側 インドネシア文部科学省言語開発省長 Prof. Dr. Dadang Sunendar, M. Hum. 氏		
9:30-10:00	ティータイム		
10:00-12:00	企業研修① 教師研修①（合同開催）	介護/ビジネスのケースを用いたケース学習	
12:00-13:30	昼食		
13:30-14:00	基調講演②日本側：内閣官房健康・医療戦略室 主査 遠藤由梨氏		
14:00-14:15	休憩		
14:15-16:30	企業研修②	教師研修②-1 ビジネス日本語	教師研修②-2 介護

9 月 9 日（日）

8:30-10:00	パネルセッション① 看護と介護の日本語研究会主催	パネルセッション② ビジネス日本語研究会主催
10:00-10:30	ティータイム	
10:30-12:00	パネルセッション③ 協働実践研究会主催	
12:00-13:30	昼食	
13:30-16:30	ポスター発表(実践報告・研究発表)	
16:30-17:00	閉会式	

○協働実践研究会 実行委員

- 大会委員長 池田玲子（鳥取大学）・館岡洋子（早稲田大学）
大会委員 企画担当：金孝卿（早稲田大学）・池田玲子（鳥取大学）
広報担当：岩田夏穂（東京大学）
発表募集担当：トンプソン美恵子（早稲田大学）